

安全・危機管理ワーキンググループ 議事概要

2014年9月22日

文責 平井 昭光

日 時：平成26年9月5日（金） 18：30～20：00

場 所：株式会社トーヨーアサノ6F会議室

出席者：坂谷常務理事、剥岩理事、鈴木一行国際委員会委員、守本孝造、平井理事
計5名

<議事概要>

坂谷GRが示したペーパー（主催とは）をベースにメールで議論してまとめ、出来れば10月に発表する。

他の委員会とは違った立場で検討すべき。ちょっと引いた立場で。（鈴木）

他の委員会に影響を与えられるような答申を出せたら良いのでは（坂谷）

主催者やレースオフィサーがやらなければならないことがあるのでは。安全委員会とレース委員会に跨るようなところがある。（守本）

危機管理マニュアルを改訂したい（鈴木）。

安全委員会の固有の領域には関わらず、その範囲外で事故防止、危機対応に関する部分を扱うべき（平井）

危機対応マニュアル、外洋レース危機管理プログラムがある。

プログラムを基礎に一般化すれば良いのでは？（平井）

ディンギ、内海と外洋用を作る必要がある。（鈴木）

危機管理責任者を定めておくと、事故の窓口となって良い。

主催者に何らかの安全講習に関する義務を課するのは良いのでは（守本、平井）。

<坂谷理事ペーパーへのコメント>

（1）大会組織

危機管理の担当者はいるのか。

マニュアルの読み合わせが必要

大会組織と連絡網を入れた方が良いのでは（守本）

（2）レース開始時、期間中の気象情報の収集

（3）公示

ゆるゆるの公示をどうするか。危機管理の観点から一定のレベルの公示が必要。

特別加盟団体への対応は？

RRSを遵守できるように

適切なSRカテゴリーを選ぶこと

（4）関係機関

（5）財務

初動の、不測の事態に対応できるお金を用意すべき（平井）。

基金の積み立てなど

（6）艇の安全確保

今後、コメントを書き込んで、メールで坂谷理事に送る。